

KVK ワンコックサーモスタート式シャワー 施工説明書1

KF125(Z)(G)(2)N〈各仕様共通〉

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

■この施工説明書はKF125N仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、しては
いけない「禁止」の内容です

 この絵表示は、必ず実行して
いただく「強制」の内容です

<p>湯水を逆に配管しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>寒冷地仕様の場合 水抜きつまみは水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>水抜きつまみをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。</p> <p> 注意</p> <p>取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならず、やけどをすることがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯制止水栓が熱くないことを確認してください。</p> <p> 注意</p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき仕様の場合 めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをすることがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>配管接続部をテーパねじに接続しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>テーパねじに接続すると、接続部がゆるんだり、パッキンが切れたりして、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>注意</p> <p>小型電気温水器(即湯器)等に給湯ホースを接続する際は、ステンフレキ管等を介してください。</p> <p> 注意</p> <p>高温の熱により給湯ホースの寿命が短くなり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。</p> <p> 注意</p> <p>点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p> 注意</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

取り付け前に

- ① 使用水圧(A=(給湯器の最低作動水圧)+(配管圧力損失))
(1)瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃ 給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開)
(比例制御式)最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- (2)貯湯式給湯器との組み合わせ
(給湯・給水圧力)最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- ② 吐止水レバーは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、50℃~60℃に設定することをおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ シャワーホースを伝って水がキャビネット内に浸入するおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。
- ⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け手順2

7-1 シャワーホースの接続

① (一般地仕様の場合)カプラーとシャワーホースの接続が緩んでいないか確認してください。緩んでいる場合はカプラーを手締め後、約30度増し締めしてください。(締め付けトルクの目安は約100N・cm)

(寒冷地仕様の場合)水抜き付きカプラーとシャワーホースを接続します。水抜き付きカプラーを手締め後、約30度増し締めしてください。(締め付けトルクの目安は約100N・cm)

【△注意】カプラー等の接続の際は、以下の内容に注意してください。
 漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 ※カプラーの締め付け不足や締め付け過ぎ
 ※シャワーホースのセレーション部以外に工具をかけない
 ※シャワーホースはねじらない

② カプラーのキャップをはずし、スライダーを下に下ろしてからプラグへカチッと音がするまではめ込みます。(エルボ付仕様の場合はエルボが下向きになっていることを確認します。)取り付け後、カプラー(または水抜き付きカプラー)を引っぱってははずれていないことを確認します。

【△注意】カプラー取り付け後、確実に接続されているか、以下の確認を行ってください。確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
 ・スライダーが上がっていること
 ・カプラーを真下に引っぱってははずれないこと

7 ページ

7-2

【△注意】シャワーホースは止水栓に引っ掛けないで、給湯パイプの外側にぶらさげてください。シャワーホースが引き出しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

8 ステッカーの貼り付け
 使用方法ステッカーを見やすい位置に貼り付けてください。

8 ページ

取り付け後の点検と清掃1

通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器清掃のお願い

シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器、逆止弁ユニットのストレーナにゴミ等がたまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミが詰まったり、水あか、汚れ等が付着した場合、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

【△注意】サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- 湯水両側の止水弁[2カ所]又は元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
 - 【お願い】キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。
 - 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。
 - 精密ドライバーをキャップの切り欠き部に差し込みキャップをはずしてから、ねじをはずします。
 - 温度調節ハンドル、吐止水レバーを取りはずします。(取り付け手順4の逆の手順を参照してください。)
 - ふたを取りはずし、サーモスタットカートリッジを取りはずします。
 - サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。
- 清掃後は、上記と逆の手順で組み立ててください。
 【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

【お願い】組み立て時、本体のビスと、サーモスタットカートリッジの切欠きを合わせて押し込んでください。

9 ページ

温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

【はじめに確かめてください】

- ・止水弁を全開にしているか確かめてください。
- ・ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- ・給湯温度50℃～60℃の湯が給湯できているか確かめてください。

- 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。
 - 【お願い】キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。
 - 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。
 - 精密ドライバーをキャップの切り欠き部に差し込みキャップをはずしてから、ねじをはずします。
 - 温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。
 - ポイント(グレー)にストッパー解除ボタンを合わせて温度調節ハンドルをはめます。
 - ねじでハンドルを固定し、キャップをはめ込みます。
- 【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。
 ※目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。

流量の調節方法(止水栓は本製品に同梱されていません。別売です)

流量の調節は右記の方法で行ってください。

図は一般地仕様です

故障かなと思ったら…

修理を依頼される前にお確かめください。

➡ 取扱説明書「故障かなと思ったら…」参照

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

10 ページ

403495-05